編　修　趣　意　書
（教育基本法との対照表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
104-22	高等学校	商業	財務会計Ⅱ	

※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教　科　書　名
7 実教	商業 742	財務会計Ⅱ

１．編修の基本方針

「財務会計Ⅰ」の学習を基礎として，適切な会計情報を提供するとともに，効果的に活用するために必要な資質・能力を育成することを目指し，財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けることで，個人の能力を伸ばし，勤労を重んずる態度を養うことを意識している。

① 幅広い知識と教養を身に付ける観点から，関連する事項の補足説明なども囲みで記述している。

② 自主及び自律の精神を養う観点から，練習問題を掲載し，自学自習に役立つよう配慮している。

③ 正義と責任を重んずるという観点から，「職業会計人の社会的役割と倫理」では，公認会計士や税理士の倫理について記述している。また，巻末資料として公認会計士法や税理士法も掲載している。

④ 国際社会の平和と発展に寄与するという観点から，「会計基準の国際的統合」では，わが国及び海外の会計基準を紹介するとともに，今日における会計の国際的動向について記述している。

⑤ 職業及び生活との関連を重視するという観点から，「職業会計人の社会的役割と倫理」では，公認会計士や税理士の職務について記述している。

２．対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
まえがき	・めまぐるしいスピードで変化している経済社会において，わが国の会計基準と国際化への対応について記述している（第５号）。	p.3
第１編	・幅広い知識と教養を身に付ける観点から，財務会計の基本概念を記述している（第１号）。 ・生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うという観点から風景の写真を掲載している（第４号）。 ・伝統と文化を尊重するという観点から，わが国の会計基準の特徴を記述している（第５号）。 ・国際社会の発展に寄与するという観点から，会計基準の国際的統合と国際会計基準への対応について記述している（第５号）。 ・自主及び自律の精神を養う観点から，編末に総合問題を設け，財務報告の目的等を確認できるようにし，自学自習に役立つよう配慮している（第２号）。	p.8～12 p．7 p.22～24 p.25～27 p．283

第２編	・幅広い知識と教養を身に付ける観点から，資産会計，負債会計，純資産会計，損益会計，リース会計，税効果会計に関する基礎的な内容を記述している（第１号）。 ・生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うという観点から風景の写真を掲載している（第４号）。 ・正義と責任を重んずる観点から，企業会計基準等のルールに従った会計処理方法を説明している（第３号）。	p.30～118 p．29 p.30～118
第３編	・幅広い知識と教養を身に付ける観点から，外貨換算会計，キャッシュ・フロー計算書に関する基礎的な内容を記述している（第１号）。 ・生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うという観点から風景の写真を掲載している（第４号）。 ・正義と責任を重んずる観点から，企業会計基準等のルールに従った会計処理方法を説明している（第３号）。	p.120～158 p.119 p.120～158
第４編	・幅広い知識と教養を身に付ける観点から，企業結合会計，連結財務諸表の作成，持分法，連結税効果会計に関する基礎的な内容を記述している（第１号）。 ・生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うという観点から風景の写真を掲載している（第４号）。 ・正義と責任を重んずる観点から，企業会計がルールにもとづいて行われていることがわかるよう脚注に根拠となる会計基準等を示している（第３号）。	p.160～224 p．159 p.160～224
第５編	・幅広い知識と教養を身に付ける観点から，財務諸表の活用に関する基礎的な内容を記述している（第１号）。 ・生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うという観点から風景の写真を掲載している（第４号）。 ・自主及び自律の精神を養う観点から，編末に総合問題を設け，第５編の学習内容を確認できるようにし，自学自習に役立つよう配慮している（第２号）。	p.226～248 p.225 p.284
第６編	・幅広い知識と教養を身に付ける観点から，監査と職業会計人に関する基礎的な内容を記述している（第１号）。 ・生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うという観点から風景の写真を掲載している（第４号）。 ・正義と責任を重んずる観点から，会計監査がルールにもとづいて行われていることがわかるよう脚注に根拠法令等を示している（第３号）。	p.250～282 p.249 p.250～282

３．上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

編　修　趣　意　書
（学習指導要領との対照表、配当授業時数表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
104-22	高等学校	商業	財務会計Ⅱ	

※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教　科　書　名
7 実教	商業 742	財務会計Ⅱ

１．編修上特に意を用いた点や特色

本書は，「財務会計Ⅱ」を履修する学習者のために，財務会計の基礎を理解させることを目的として編修した。また，上記の目的を効率よく達成できるようにするために，以下の点に配慮して編修している。

(1)　全体を「第１編　総論－財務会計の基本概念と会計基準－」，「第２編　各論〔１〕－財務会計の実際－」，「第３編　各論〔２〕－企業活動の展開と財務会計－」，「第４編　各論〔３〕－企業結合の会計－」，「第５編　財務諸表の活用」，「第６編　監査と職業会計人」に分けて，各編ごとにまとまりのある学習ができるようにした。

(2)　文章表現は簡潔にし，とくに生徒の間違いやすい箇所については，丁寧に記述している。

(3)　本書は，図解を多く用いて，学習事項の相互関係などを視覚的に理解できるよう配慮するなど，生徒が学習事項を理解しやすくなるよう努めている。

(4)　本書では，本文中に「例題」を設け，各章末に「練習問題」を設けている。これにより，個々の学習事項の確実な理解と適正な会計処理ができるように構成した。

２．対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第１編　総論－財務会計の基本概念と会計基準－	(1)財務会計の基本概念と会計基準	ｐ．7	
第１章　財務会計の基本概念	ア　財務諸表の作成と表示の考え方	～28	2
第２章　資産負債アプローチと収益費用アプローチ	イ　資産負債アプローチと収益費用アプローチ		3
第３章　会計基準の国際的統合	ウ　会計基準の国際的統合		2
第２編　各論〔１〕－財務会計の実際－		ｐ．29	
第４章　資産会計	(2)会計処理 ア　金融商品 ウ　有形固定資産と無形固定資産	～118	１０
第５章　負債会計	エ　固定負債		7
第６章　純資産会計	オ　純資産		5
第７章　損益会計	イ　収益と費用		7
第８章　リース会計	ウ　有形固定資産と無形固定資産		2
第９章　税効果会計	カ　税効果会計		3
第３編　各論〔２〕－企業活動の展		ｐ．119	

開と財務会計－ 第10章　外貨換算会計 第11章　キャッシュ・フロー計算書	(2)会計処理 ア 金融商品 (3)キャッシュ・フローに関する財務諸表 ア 資金繰りの重要性 イ キャッシュ・フローに関する財務諸表の作成	～158	7 １０
第４編　各論〔３〕－企業結合の会計－ 第12章　企業結合会計 第13章　連結財務諸表の作成（その１） 第14章　連結財務諸表の作成（その２） 第15章　持分法 第16章　連結税効果会計	(4)企業集団の会計 ア 企業結合の形態 イ 合併後の財務諸表の作成 ウ 連結財務諸表の作成 エ 連結税効果会計	p．159 ～224	 5 8 6 6 2
第５編　財務諸表の活用 第17章　財務諸表の活用	(5)財務諸表分析 ア 企業価値の評価 イ 連結財務諸表分析 ウ 株主関連指標	p．225 ～248	１０
第６編　監査と職業会計人 第 18 章　監査と職業会計人	(6)監査と職業会計人 ア 会計責任と監査の概要 イ 職業会計人の職務	p．249 ～282	１０
		計	１０５